



UIFA ニュース

発行 宇治市国際親善協会

事務局 〒611-8501 宇治市宇治琵琶33 宇治市役所秘書課内

電話 0774-22-3141(内線2057) FAX 20-8776

E-mail BCH04550@nifty.com ホームページ <http://homepage3.nifty.com/uifa/>

第 49 号

平成18年(2006年)11月

姉妹都市「カムループス」訪問記

市民訪問団員 今川 博

7月7日の夕刻6時40分、今回姉妹都市訪問で一緒でありながら「行政訪問団の役割上」先に帰国された久保田市長様を始め、高橋議長様や市役所職員の方々にお出迎え戴き無事、今回の「姉妹都市カムループスの訪問とカナディアンロッキー観光の旅」を終えた。

振り返れば、6月29日からの9日間は真に「旅の楽しさを満喫」できた期間でした。同じ地元から参加した気安い仲間たち、団長久保田市長様を始めとする安心の引率団、全日に渡る日本晴れ(カガ晴れ?)、カムループス市での心温まる歓迎、かねてからの友人宅の訪問、湖ごとに色彩の異なるレイク・ルーズ、モーレン・レイク、ペイト・レイク、更にはカナディアン ロッキーのハイライト「コロンビア大氷原」... 全ての見聞は私の五感に十分な満足を与えてくれました。

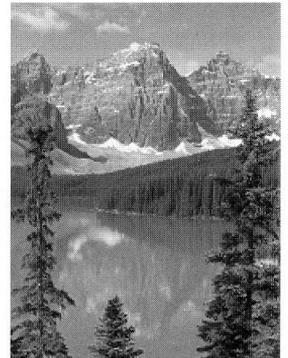
友好の 歴史に刻む 一頁 我が訪問団も 責務を終えし



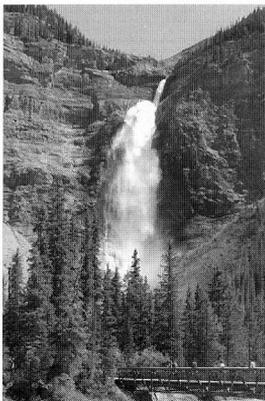
梅雨さなか まれに見られる 晴れの日に
我が訪問団は 旅立つ幸せ



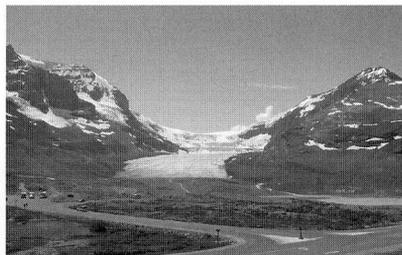
長旅の 疲れを癒す エリザベス
花の色合い ことさらに深く
(エリザベス公園)



静かなる 湖面に映る 蝦夷松も
ロッキーの宝 モーレン・レイク



滝の名も 先住民の 感嘆詞(スコーイ)
タタカウの滝 その名に恥じず



万年の 歴史の香り コロンビア
白雲も出で 至高の輝き



四面に続く ➡

咸陽市公式訪問団来訪

祝 友好都市盟約締結20周年記念

中国咸陽市と宇治市が友好都市盟約を締結して今年の7月24日で20周年を迎えました。友好都市咸陽市から、千軍昌市長を団長とする公式訪問団8名、卓球訪問団10名、集郵協会訪問団5名、市民訪問団18名の41名の訪問団が7月23日(日)から26日(水)まで滞在、20周年を記念して記念式典と歓迎晩餐会が開催されました。また、卓球交流会、切手展等の催しが多彩に開催されました。

咸陽市公式訪問団団長千軍昌市長らの表敬訪問



友好都市盟約締結20周年記念式典を開催



宇治市咸陽市友好都市盟約締結20周年記念写真展



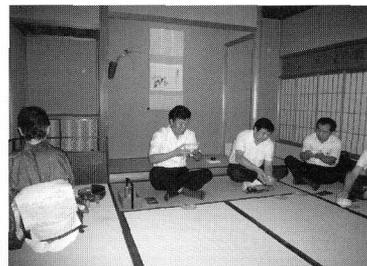
兵馬俑の除幕を終え、硬く握手をする千軍昌咸陽市長と久保田勇宇治市長



平等院にて千軍昌市長



対鳳庵にて



咸陽市卓球訪問団と卓球交流会



第10回切手展が咸陽市集郵協会と宇治郵趣倶楽部と合同で開催



カムループスに留学して 中谷桂子

期待と不安の入り混じったカナダ、カムループスでの4ヶ月は、あっという間に過ぎ去った。環境は人間も変えてしまうものである。強くもするし、臆病にもする。カムループスに降り立ち、ホストファミリーと迎えた最初の夜、彼らは、私がいまだ英語に関して堪能ではないことを知り、とてもがっかりした様子だった。英語が出来ないことに対して哀れまれたり、また私の相手をするのが面倒なのか、適当にあしらわれることもしばしば。最初の1ヶ月ですっかり話すことが億劫になってしまった。「ホストファミリーはビジネスである」これは向こうで学んだことのひとつだ。カナダでは、人口に比べて守るべき自然が多いため、一人あたりが負担しなくてはならない税金の金額は、日本のそれを大きく上回っている。しかし、「ホストファミリー」をすることによって得られる収入は、一銭たりとも税金として徴収されることはない。私たち生徒は、受け入れてくれたファミリーに対して、毎月決まった日に決まった金額を手渡すことになっている。「ファミリーはある程度の収入を期待してあなたを受け入れているのだから。」このような話を聞かされた時、最初は耳を疑った。と言うのも、日本人の間では、ビジネスで生徒を受け入れている、という事を聞いたことがなかったからである。現実私に家族がタイからの生徒を受け入れた時、短い期間ではあったのだが金銭的なやりとりはなかった。私の考え方が甘いと言われればそれまでだが、少しばかり失望してしまっただけだ。

そんな時に、それでもやっぱり日本に帰りたくて思わなかったのは、学校で出来た友達によるところが大きい。

残念ながら、ほとんどのカナダ人学生は夏季、履修しておらず、従って学校で出会うのは留学生ばかりだった。その留学生の多くはアジアの出身である。とりわけ中国系の人が多く、仲良くやって行けるか最初は不安に思ったものだったが、やはり同じ人間である。同じ英語を学ぶ立場で、年齢もさほど変わらない。言葉が通じないことはあっても、雰囲気は分かる。最後にはそんな感じだった。

ホームステイの一件から開き直った私は、悔いを残さないために積極的に人に話しかけるようにした。街なかで出会った人々は皆、親切で親しみやすい人たちばかりだった。一度顔を合わせたただけなのに、私の拙い英語にも笑顔で答えてくれ、連絡先を覚えてくれた人。勇気を答えて話をするのが、英語を上達させる助けにもなり、何より私自身を強くしたと思う。そして今回の留学で一番大きかったことが出会いと別れである。「出会いに別れは付き物」この言葉を証明するかのよう、出会いと別れの繰り返しであった。運の良いことに、今年は宇治の市民訪問団の方々がカムループスへ来られた年。私たちも呼んで頂き、沢山の人に出会うことが出来た。宇治から来られた訪問団の方々はもちろん、カムループスでもてなして下さった方たちとの出会いは大きかった。これから先にはもう無いであろう貴重な経験だった。来年、次はカムループスから宇治へ訪問団が訪れる年である。再会の約束が果たせるのを、今から楽しみにしている。



AET紹介 (新しいカナダからの先生)

こんにちは。私の名前はケーシーです。

年齢は22歳です。カナダの

カムループス市から来ました。

大学では看護師の学位を取得し

ました。昨年、広島で7ヶ月間、

子供たちに英語を教えていました。

私は、日本語の勉強、読書、旅行

等、様々なことに興味があります。

また、新しいことに挑戦することが大好きですので、

様々なスポーツにも挑戦してみたいです。私は宇治市の

皆さんにとっても温かく迎え入れていただいたことを

大変嬉しく思っています。また皆さんはとても親切

です。ここ宇治市には、とても古いお寺、きれいな川

や山がたくさんあります。また、交通のアクセスもよ

くとても便利です。

私はこの一年間、宇治市で素晴らしい時間を過ごせる

こと、また宇治市の子供たちに英語を教えることを楽

しみにしています。



MISS Cassandra Gritton

私の名前はジェンナです。カナダの

カムループス市から来ました。年齢

は23歳です。私は、サッカー、

マウンテンバイク、ハイキングが好き

です。今回、はじめて日本にきました。

日本に来るまで、私はシーフードを生

で食べたことがありませんでした。来日

後すぐに、寿司と生の蛸を食べてみました。美味しかつ

たです！宇治のひとたちは皆さんとても親切です。そし

て、宇治は自然に恵まれた美しい町です。宇治川や山々

を見ていると私はカムループスのことを思い出します。

私はこの一年間、宇治市の子供たちに英語を教えること

を楽しみにしています。温かく迎え入れていただきまし

てありがとうございます。

Miss Jenna Goddard



今川博さんのカムループス訪問記 一面から続く

6月29日 10:00 市役所にて「出発式」⇒ 15:50(CA-36)⇒ 同日 09:25 ハンクパー⇒ 18:26 カムループス着

6月30日 カムループス市役所(議会)表敬訪問⇒ 浄水場見学⇒ トンプソン大学

「市役所の表敬訪問」テリー・レイク市長 ランディーディール助役とこれまでも宇治を訪問された数人の市会議員の皆様を迎えられて「議場」へと案内された。訪問した誰もが「何とこじんまりとした議場か?」ということでした。なにしろ議員数は8名とのことですのでこの程度の広さでいいのかも知れません。カムループス市の人口が8万人強とのことですのでほぼ1万に一人、宇治市は19万人で32人、約1.7倍の議員数です。宇治市でも漸く2名の減員が先日の議会で決定したとか…。宇治市からも3人の留学生がいる「トンプソン大学」を訪問

11:00頃から宇治市からも3人の留学生がいる「トンプソン大学」を訪問、広々としたキャンパス、特に市街との間に何の塀もないのが印象的で、「世界54ヶ国からの留学生を受け入れている」という。留学された皆さんも貴重な経験をされるであろうと思われる素晴らしい環境の大学でした。

7月1日 アニキアリコ氏宅⇒カナダディー⇒昼食会⇒晩餐会⇒花火大会

早朝より家内と二人でアニキアリコ氏宅を訪問。ジュニアは4年間宇治でAETをされており、宇治でもかなり多くの方が知っておられる。又アニキアリコ氏はサッカーでの交流やその他で数回宇治を訪問、又、ホンダ車のディーラーが本職であることから、大の日本びいき、陽気なイタリアンでこれまでも数回の交流があったので、スケジュールの合間を縫って早朝より自宅を訪問。300坪を越す敷地にプール、果樹の木々、広い応接、ワインの地下室、1時間だけの短い訪問ではあったが、旧交を暖めるには十分なひと時でもありました。

当日は「カナダ ディー」、いずこも同じ著名人の長い挨拶が続く中、我が宇治市長は流暢な英語で挨拶され、締めは日本流の「万歳三唱」で当日の最高のパフォーマンスを演じられたことが何よりの収穫でした。

7月2日 キャロルさん宅⇒サン・ピークリゾート⇒日系人会晩餐会

当日は、郊外のサン・ピークリゾート、リフトは風に揺れヒヤヒヤしながら山頂へ、吹く風爽やか、空青くヨーロッパ調の建物が眼下にたたずむ。素敵な街並みにショッピングに精出すメンバーもあった。

夜はカムループス日系人会の皆さんにご招待を受け、心尽くしの日本料理を戴きながら、琴に和太鼓の演奏を楽しんだ。宇治市長が訪問された答礼を含めてか、テリー・レイク市長も出席され、地元日系人会の皆さんも大変に感激されたとのことでした。(カムループス市長が日系人会を訪問したのは始めてのこと)

7月3日 市内自然動物園⇒公式訪問団は帰国に 市民訪問団は観光地パンフに

9:00 全ての荷物をバスに乗せ、最終の施設見学「コロンビア自然動物園」を見学、ここでは自然界でのアクシデントで負傷した動物たちのリハビリを行うことも大きな目的と説明される。お迎への「ふくろう」は片目であったが、館員と一体となり我々を歓迎している風であった。昼食後、これまでご一緒した公式訪問団(久保田市長、長谷川副議長、菅野議員、八木議会事務局次長)とはここでお別れ、せつかくご夫婦で参加された市長夫妻を引き離すことにも、残念。

7月4日～7月7日 全日快晴 カナディアンロッキーを満喫

雄大な大地、険しき岩山、美しき湖、豪快な滝、全てが感動の風景の中での3日間でした。

雑感雑観

『中国卓球の強さ』

本誌で詳しく報告されているとおり、友好都市盟約20周年を記念して、さる7月23日千市長を団長とする公式訪問団(4団体41名)が来訪され、市役所表敬訪問の際、見事な兵馬俑2体が贈呈されました。歴史資料館に展示されますので、2千年の時を越えて圧倒的な印象を与える兵馬俑をぜひ一度ご覧下さい。

公式訪問団とともに咸陽市少年、少女卓球選手団(張団長以下役員4名、選手6名)が来訪されました。選手は小6から高1までの6名で、体格、風貌もジュニアそのもので、誰もが市卓球協会の選抜選手にとって与しやすい相手と思いましたが、しかしいったん彼らがラケットを手にコートに立つや、その見事な球捌き、反射神経の鋭さに圧倒されました。特に試合中のここぞというポイントでの勝負

強さには感服させられました。幼年時より国、地方が一体となって体系的に人材の発掘と指導育成を行っている成果とのこと。北京五輪を控え着々とスポーツ大国へ向かって進む中国の姿の一端を見た思いです。余談ですがあの福原愛ちゃんが中国へ渡って苦勞をされているのもむべなるかなです。(交流試合の戦績については敢えてご報告いたしません)

いったんコートを離れてプールで、バーベキューパーティーでまたホームステイ先で市日中友好協会の肝いりで結成された少年、少女応援隊の同年代の子供たちと言葉の壁を越えて交歓する様子はまったく別人のようでした。この子供たちが作ってくれた友好関係が末永く続けば、少々の政治的なきしみは何ら気にすることはないと痛感しました。子供たちにこのような交歓の場を与えることにご協力いただいた関係各位に誌上をお借りして深く感謝いたします。

小川 一三 記 (市体育協会副会長)